

### 7月は青少年の非行・被害防止全国協調月間です。

7月は、ご家庭や地域の皆様はじめ、青少年健全育成に関わる方々による見守りの強化をお願いします。

#### 『監視重点項目』

- ① インターネット利用に係る非行及び犯罪被害防止対策の推進
- ② 有害環境への適切な対応
- ③ 薬物乱用対策の推進
- ④ 不良行為及び初発型非行（犯罪）等の防止
- ⑤ 再非行（犯罪）の防止
- ⑥ 青少年の福祉を害する犯罪被害の防止

### 放課後子ども教室のご案内

放課後子ども教室は、学校の校庭や施設をお借りして、放課後の居場所づくりとして、すべての小学校で開催しています。

異なる学年でも楽しく遊び、創意工夫して過ごしています。

登録は随時受付しています。開設日や登録用紙も市のホームページから確認・ダウンロードすることができますので、ご利用ください。



## 7月はあいさつ運動推進強調月間です

### 『あいさつは 顔見て ハート 目を見て 心見て』

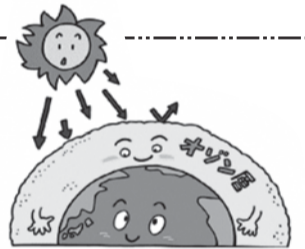


#### 『ご案内』

子ども育成課では、青少年の事業に関する行事の予定や内容、お知らせなど市のホームページでご案内しています。ぜひ、活用ください。

☆昭島市ホームページアドレス  
<http://www.city.akishima.1.g.jp/>  
☆子ども育成課

## チョコっと科学 オゾン層



46億年前に地球が誕生したころは、大地には紫外線がふりそそぎ、大気はありませんでした。その後何十億年もかけて紫外線を防ぐ「オゾン層」ができ酸素ができたので、地上に生き物がすめるような大気ができたのです。私たちがよく口にする空気ですね。

この、大気は、地上から約500kmの高さまであり、上昇するほど大気は薄くなり温度も変化しています。

この大気層のなかで、地上から高度約20から30kmあたりは「オゾン」というガスが多く含まれているところがあります。

ここを「オゾン層」といっています。

『オゾン層』は生き物に害のある太陽の紫外線を吸収する働きをしています。『オゾン層』が減ってしまうと、皮膚ガンや白内障という目の病気にかかりやすくなります。農作物ができる量も少なくなるといわれています。最近、人間が使っていた「フロンガス」が上空までいき、この「オゾン」を壊し始めていくことがわかってきました。

南極や北極の上空などは「オゾン」が非常に少ないところがありました。

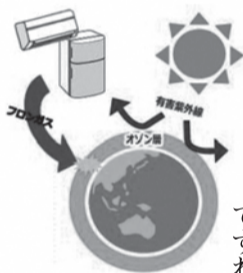
このことを「オゾンホール」といいます。この「オゾンホール」がどんどん大きくなると紫外線の量が増えてしまい、地球の生物にとっては大変危険です。

そこで、世界中が「フロンガス」の使用を禁止しようと努力しています。

国際的な条約1987年の「モントリオール議定書」で「フロン」を作るのをやめることが決まりました。

でも、空気の中に出てきた「フロン」は何年も時間をかけて、オゾン層にたどり着くので、フロンを作るのをやめても、すぐにオゾン層が元に戻るわけではありません。

科学と自然・生命との調和がとれるといいですね。



## 夏!! セミはどうして(あんなにうるさく)鳴くの?



フアーブル昆虫記で有名な、フランスのフアーブルが、ある実験をしました。セミが鳴いているすぐそばで大砲を鳴らしたのです。しかし、セミは鳴きやみませんでした。実験の結果セミに耳がないように思えましたが、じつは耳をもつていて音が聞くことができるのです。

鳴くセミは雄だけで、雌のセミに自分のいる場所を鳴き声で知らせているのです。

ミンミンゼミとツクツクボウシは鳴くとそのあとパツと飛びたつてしまいます。アブラゼミとニイニイゼミなどは鳴いても、そのまま動きません。動いて、雌を探すセミと鳴いて、雌を呼ぶセミの2種類がいるようです。

どちらにしても、雄のセミは自分のいる場所を雌に知らせるために、あのように、うるさく鳴いているのです。親になったセミは、たった一週間か10日間の命しかありません。

限られた命の中で、次の生命をのこすという大切な仕事をしなければなりません。だから、あのように激しく鳴いて雌を呼んでいるのでしょう。

